

はっくつ ～発掘でわかる戦争への備え～

年 組 名前

だいにじせかいだいせん
第二次世界大戦の末期になると、空襲に備えるための敵機の見張所や飛行場を守るための
こうしゃほうじんち
高射砲陣地が築られました。

challenge

- ① 右の2枚の写真は、敵機の襲来をみつ
けるための見張所でした。つくられた場所
に共通する点は何でしょう？

- 山の上にある。
- 見晴らしのいい所にある。
- 地図で見ると、海に面した所にある。

さいごう
西郷の見張所



きたはま
北浜の見張所(出雲市十六島町)
うつぶるいちょう

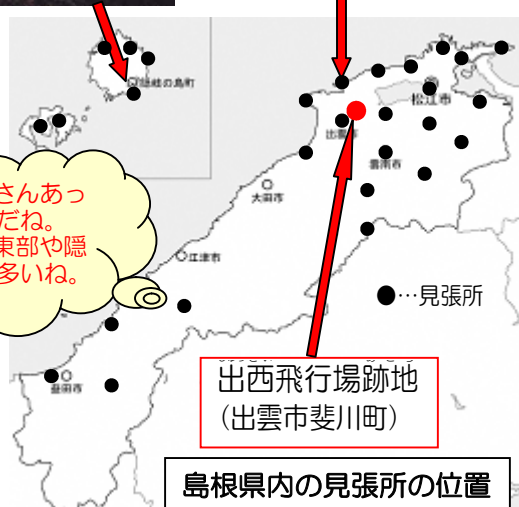


- ② この穴は何でしょう？



直径約4m、深さ約2mのコンクリート製の筒が
埋め込んであります。

- たくさんあっ
たんだね。
- 県の東部や隠
岐に多いね。



出西飛行場跡地
(出雲市斐川町)

島根県内の見張所の位置

- 敵の飛行機が来るのを、音で知るた
めの穴

攻撃に備えるために、
いろいろな工夫をして
いたんだね。

ヒント…中に入って耳をすま
せば…聴音壕といもす。



コラム

しゅうさい 出西飛行場の高射砲陣地(斐川町)～

出西飛行場は、1945年7月、島
根県で初めて空襲がありました。
発掘された高射砲陣地からは、土
台に使われた角材やボルト、ナツ
が発見されました。写真の丸い
穴の上に高射砲が置かれていま
した。



高射砲陣地の跡